

‘さくらひめ’の特性を活かした 枝切り採花方法

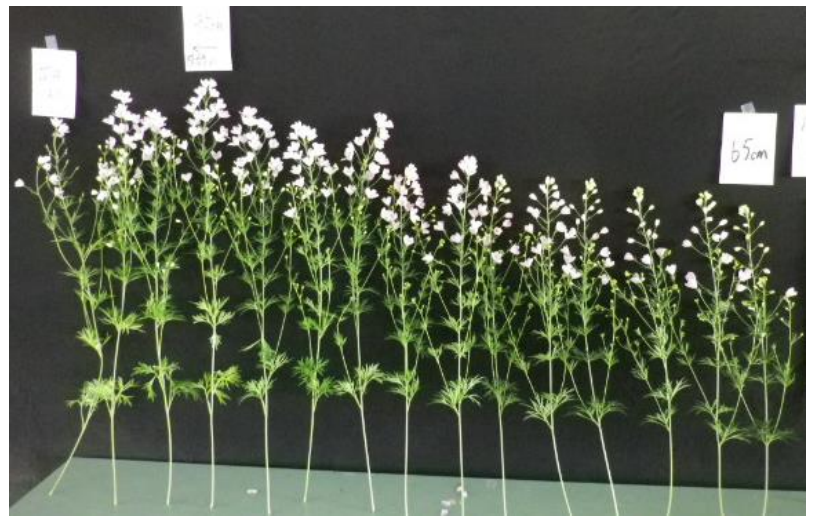
農林水産研究所

‘さくらひめ’の採花方法は株元から切り花とする「元切り」が主流ですが、分枝を一本ずつ切り花とする「枝切り」で、元切りより粗収益が高くなりました。

「枝切り」は通常の栽植密度（株間18cm×4条植え）ではムレによる欠株が多くなるため、通常より広く植える必要があり、株間18cm×3条植えが適します。



元切り



枝切り

収穫方法の違いによる粗収益

(1a当たり)

収穫方法	定植方法 株間×条間	定植本数 (本)	切り花本数 (本)	販売単価 (円)	粗収益 (円)	種苗費 (円)	粗収益－ 種苗費 (円)
枝切り	18cm×4条	1,851	19,157	50	957,850	166,590	791,260
	18cm×3条	1,388	18,460	50	923,000	124,920	798,080
	20cm×3条	1,249	17,860	50	893,000	112,410	780,590
	22cm×3条	1,136	16,812	50	846,600	102,240	738,360
元切り	18cm×4条	1,851	5,182	118	611,476	166,590	444,886